

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2017年1月24日まで（2010年9月28日設定）	
運用方針	主として証券投資信託であるブラジル国債マザーファンドA Fおよび米ドル建て外国投資信託であるJPMorgan Funds - Africa Equity Fundへの投資を通じて、ブラジルリアル建てのブラジル国債およびアフリカの株式等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。設定当初の実質的な債券と株式等への投資比率は原則として概ね6：4程度とします。組入れ後は、為替や株価などの値動き等により投資比率は変動します。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。	
主要運用対象	ツインアクセル（ブラジル国債&アフリカ株式）《2017-01》	証券投資信託であるブラジル国債マザーファンドA Fおよび米ドル建て外国投資信託であるJPMorgan Funds - Africa Equity Fundを主要投資対象とします。
	JPMorgan Funds - Africa Equity Fund	アフリカの企業の株式等を主要投資対象とします。
	ブラジル国債マザーファンドA F	ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

ツインアクセル （ブラジル国債&アフリカ株式） 《2017-01》

信託終了日：2017年1月24日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ツインアクセル（ブラジル国債&アフリカ株式）《2017-01》」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税金分配	み騰落				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円
3期(2013年9月27日)	12,062	10	24.3	54.5	—	41.0	1,524
4期(2014年9月29日)	13,555	10	12.5	53.4	—	42.2	1,112
5期(2015年9月28日)	10,452	10	△22.8	49.0	—	46.7	717
6期(2016年9月27日)	10,215	10	△ 2.2	60.0	—	36.6	589
(償還時)	(償還価額)						
7期(2017年1月24日)	11,928.77	—	16.8	—	—	—	488

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、ブラジルレアル建てのブラジル国債およびアフリカの株式等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
		騰落	率			
(期首)	円 銭		%	%	%	%
2016年9月27日	10,215		—	60.0	—	36.6
9月末	10,321		1.0	59.9	—	37.2
10月末	10,763		5.4	58.8	—	35.9
11月末	11,069		8.4	58.6	—	36.3
12月末	11,900		16.5	55.7	—	35.7
(償還時)	(償還価額)					
2017年1月24日	11,928.77		16.8	—	—	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

設定来の基準価額等の推移について

（第1期～第7期：2010/9/28～2017/1/24）

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ19.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬（純資産総額に対し、年率1.6924%（税込）程度＋「JPMorgan Funds - Africa Equity Fund」の成功報酬）控除後の値です。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	ブラジル債券の利子収益を享受したことに加え、アフリカ株式市況などが上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ブラジルリアルや南アフリカランド、ナイジェリアナイラなどが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第1期～第7期：2010/9/28～2017/1/24）

株式市況の推移
（設定時を100として指数化）



- ・ MSCI エマージング・アンド・フロンティア・マーケット・アフリカ・インデックス（配当込み）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、南アフリカ、エジプト、モロッコ、ナイジェリア、ケニア、モーリシャス、チュニジアの株式で構成されています。MSCI エマージング・アンド・フロンティア・マーケット・アフリカ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は MSCI エマージング・アンド・フロンティア・マーケット・アフリカ・インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI エマージング・アンド・フロンティア・マーケット・アフリカ・インデックス（配当込み）に対する著作権及びその他知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。

◎アフリカ株式市況

- ・ 設定以来のアフリカ株式市況は上昇しました。
- ・ 南アフリカ株式は、中国の景気減速や欧州債務問題などが懸念され下落する局面はあったものの、南アフリカの景気が良好であったことに加え、世界的な金融緩和基調が続き投資家のリスク志向が改善したことを受けて上昇しました。ナイジェリア株式も堅調な経済成長が継続していたことが好感されて上昇しましたが、2014年後半以降は、原油価格の下落に加え、本国通貨の切り下げなどが嫌気されて下落しました。その後、両市場とも、2016年前半は原油価格上昇を受けて反発しましたが、年後半以降は米国の利上げ観測の高まりや米大統領選挙の結果を受けてリスク回避志向が高まり軟調に推移しました。
- ・ なお、為替市況は、米ドルは対円で33.7%の上昇、南アフリカランドは対円で30.4%の下落、ナイジェリアナイラは対円で31.7%の下落となりました。

◎ブラジル債券市況

- ・ 設定時から2011年7月にかけては、ブラジルにおいてインフレが顕著となる中、ブラジル中央銀行（BCB）が合計1.75%の利上げを決定したことなどを受けて、債券利回りは上昇基調で推移しました。
- ・ 8月から2012年12月にかけては、世界的な景気減速懸念が強まったほか、ブラジルの主要経済指標の多くが軟調な結果になり、ブラジル経済の減速が鮮明になる中、ブラジルの債券利回りは大幅に低下しました。BCBが複数回にわたる大幅な利下げを実施し、政策金利を過去最低水準に引き下げたことなども、債券利回りの低下要因になりました。
- ・ 2013年1月から2014年2月にかけては、ブラジルにおいてインフレ圧力の高まりが確認される中、BCBが政策金利を断続的に引き上げたことなどを背景にブラジルの債券利回りは上昇傾向を辿りました。また、米国など先進国において金利上昇が進行する中、過剰流動性の縮小に対する投資家の懸念も債券利回りの上昇要因になりました。

- ・ 3月から9月にかけては、米国を中心とした先進国の金利低下や、BCBの利上げ打ち止め観測などから債券利回りは低下しました。
- ・ 10月から2015年12月にかけては、資源価格下落などを背景として投資家のリスク回避姿勢が強まる中、新興国全般で利回りが上昇する展開となり、ブラジルの債券利回りも上昇基調で推移しました。また、インフレ率が高止まりするなかBCBが政策金利を複数回引き上げたことに加えて、国営石油会社ペトロbrasなどに対する政治汚職疑惑を巡る混乱や格付会社大手の格下げなども、債券利回りの上昇要因となりました。
- ・ その後は、原油や鉄鉱石などの資源価格が堅調に推移するなか、投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどが、債券利回りの低下要因となりました。また、ブラジル国内では、ルセフ氏に対する大統領弾劾審議が下院・上院で進み、政権交代後の財政再建期待が高まったことなども、債券利回りの低下要因となりました。

◎為替市況

- ・ 設定時に比べ、ブラジルレアルは対円で下落しました。
- ・ 設定時から2012年8月にかけては、世界経済の先行きに対する不透明感が強まったほか、米国の格下げや欧州の債務問題の先行きに対する懸念の高まりなどを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まった結果、円が買われやすい地合いになり、ブラジルレアルは対円で大幅に下落しました。また、ブラジル経済への先行き不安が高まったことなども材料視されました。
- ・ 9月から2013年4月にかけては、日本銀行による大規模な金融緩和強化策が観測され、さらには発表された内容が事前予想を上回る大規模なものだったことを受けて円売りが進行し、ブラジルレアルは対円で上昇しました。ブラジル当局がレアル安進行に伴うインフレ圧力の高まりに警戒感を強め、レアル買い・米ドル売りの市場介入を行うなどのレアル高誘導措置を講じたこともブラジルレアルの上昇要因となりました。
- ・ 5月から2015年12月にかけては、同国の政治不透明感や、資源価格が下落するなか同国経済への悪影響が懸念されたことなどがブラジルレアルの売り材料となったほか、世界経済の先行き不透明感の高まりを受けた投資家のリスク回避傾向の強まりから、ブラジルレアルは対円で下落しました。
- ・ 2016年は、米国金利が上昇して日米の金利差が拡大したことなどから、円が米ドルに対して下落するなか、ブラジルレアルは対円で上昇しました。また、鉄鉱石など資源価格が上昇したことなども、ブラジルレアルの上昇要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜ツインアクセル（ブラジル国債&アフリカ株式）《2017-01》＞

- ・投資信託証券であるブラジル国債マザーファンドA Fおよびルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資信託であるJPMorgan Funds - Africa Equity Fundへの投資を通じて、ブラジルリアル建てのブラジル国債およびアフリカの株式などに実質的な投資を行いました。
- ・信託期間中、アフリカの株式へは30～50%程度、ブラジル国債へは50～65%程度の範囲で組入れを行いました。なお、信託終了日に向けて、組入比率をゼロとしました。
- ・信託期間中は、ブラジルリアルや南アフリカランド、ナイジェリアナイラなどが対円で下落したものの、ブラジル債券の利子収益を享受したことに加え、アフリカ株式市況などが上昇したことなどから、償還価額（分配金再投資ベース）は設定時に比べ上昇しました。

＜第1期：設定時～2011年9月27日＞

基準価額は設定時に比べ14.6%の下落となりました。

＜第2期：2011年9月28日～2012年9月27日＞

基準価額は期首に比べ13.7%の上昇となりました。

＜第3期：2012年9月28日～2013年9月27日＞

基準価額は期首に比べ24.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第4期：2013年9月28日～2014年9月29日＞

基準価額は期首に比べ12.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第5期：2014年9月30日～2015年9月28日＞

基準価額は期首に比べ22.8%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

＜第6期：2015年9月29日～2016年9月27日＞

基準価額は期首に比べ2.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

＜第7期：2016年9月28日～信託終了日＞

償還価額は期首に比べ16.8%の上昇となりました。

- ・ブラジル国債マザーファンドA FとJPMorgan Funds - Africa Equity Fundが期首に比べそれぞれ上昇したことから、償還価額は上昇しました。

＜JPMorgan Funds - Africa Equity Fund＞

基準価額（米ドル建て）は設定時に比べ11.7%の下落となりました。

基準価額（円換算）は設定時に比べ21.7%の上昇となりました。

（当ファンドは米ドル建てですが、当運用報告書に反映させるため、基準価額とベンチマークを一部円換算して表記しています。）

- ・設定時から2017年1月6日までの同ファンドを売却するまでの間、アフリカの企業の株式等に投資を行い、長期的な信託財産の成長をめざした運用を行いました。

【ベンチマークとの比較】

- ・ファンドの騰落率（米ドル建て）は、ベンチマーク（MSCI エマージング・アンド・フロンティア・マーケット・アフリカ・インデックス（配当込み））の騰落率（0.4%）を12.1%下回りました。
- ・ファンドの騰落率（円換算）は、ベンチマーク（MSCI エマージング・アンド・フロンティア・マーケット・アフリカ・インデックス（配当込み・円換算ベース））の騰落率（38.4%）を16.7%下回りました。

<第1期：設定時～2011年9月27日>

- ・基準価額（米ドル建て）は、設定時に比べ14.9%の下落となり、ベンチマークを4.6%下回りました。
- ・基準価額（円換算）は設定時に比べ22.7%の下落となり、ベンチマークを4.2%下回りました。
- ・国別配分において、エジプトやケニアのオーバーウェイト（投資比率を基準となる配分比率より多くすること）がマイナスに影響しました。個別銘柄では、Equity Bank Ltd（ケニア）やNational Societe Generale（エジプト）などの株価が下落したことがマイナスに影響しました。

<第2期：2011年9月28日～2012年9月27日>

- ・基準価額（米ドル建て）は、期首に比べ25.7%の上昇となり、ベンチマークを4.7%上回りました。
- ・基準価額（円換算）は期首に比べ28.0%の上昇となり、ベンチマークを4.8%上回りました。
- ・国別配分において、ナイジェリアやケニアのオーバーウェイトがプラスに寄与しました。個別銘柄では、BRITISH AMERICAN TOBACCO-KEN（ケニア）やNIGERIAN BREWERIES PLC（ナイジェリア）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。

<第3期：2012年9月28日～2013年9月27日>

- ・基準価額（米ドル建て）は、期首に比べ9.1%の上昇となり、ベンチマークを8.1%上回りました。
- ・基準価額（円換算）は期首に比べ38.9%の上昇となり、ベンチマークを10.2%上回りました。
- ・国別配分において、ナイジェリアやケニアのオーバーウェイトがプラスに寄与しました。個別銘柄では、NESTLE NIGERIA PLC（ナイジェリア）やUAC OF NIGERIA PLC（ナイジェリア）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。

<第4期：2013年9月28日～2014年9月29日>

- ・基準価額（米ドル建て）は、期首に比べ6.1%の上昇となり、ベンチマークとほぼ同水準となりました。

- ・ 基準価額（円換算）は期首に比べ17.2%の上昇となりましたが、ベンチマークを0.1%下回りました。
- ・ 国別配分において、南アフリカのアンダーウェイト（投資比率を基準となる配分比率より少なくすること）やケニアのオーバーウェイトがプラスに寄与しました。一方、銘柄選択で、TULLOW OIL PLC（イギリス）などの株価が下落したことがマイナスに影響しました。

<第5期：2014年9月30日～2015年9月28日>

- ・ 基準価額（米ドル建て）は、期首に比べ22.3%の下落となり、ベンチマークを5.9%下回りました。
- ・ 基準価額（円換算）は期首に比べ14.5%の下落となり、ベンチマークを6.5%下回りました。
- ・ 国別配分において、南アフリカのアンダーウェイトやナイジェリアやケニアのオーバーウェイトがマイナスに影響しました。銘柄選択で、株価が上昇したNASPERS LTD-N SHS（南アフリカ）を期を通じてアンダーウェイトしていたことがマイナスに影響しました。

<第6期：2015年9月29日～2016年9月27日>

- ・ 基準価額（米ドル建て）は、期首に比べ6.4%の下落となり、ベンチマークを14.2%下回りました。
- ・ 基準価額（円換算）は期首に比べ22.0%の下落となり、ベンチマークを11.8%下回りました。
- ・ 国別配分において、南アフリカのアンダーウェイトやナイジェリアやケニアのオーバーウェイトがマイナスに影響しました。

<第7期：2016年9月28日～信託終了日>

（2017年1月6日に同ファンドを全売却するまでの評価）

- ・ 基準価額（米ドル建て）は、期首に比べ1.8%の下落となりましたが、ベンチマークを2.4%上回りました。
- ・ 基準価額（円換算）は期首に比べ13.2%の上昇となり、ベンチマークを2.7%上回りました。
- ・ 国別では、成長見通しが高いと考えていたナイジェリアやケニアのオーバーウェイトを継続する一方、南アフリカのアンダーウェイトを継続しました。
- ・ セクター別では、所得や中間所得層の増加を見込んで生活必需品のオーバーウェイトを継続しました。
- ・ エジプトの銘柄選択が奏功したことなどプラスに寄与しました。

<ブラジル国債マザーファンドAF>

償還価額は設定時に比べ37.8%の上昇となりました。

- ・ ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、信託期間を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。

- ・ブラジル国債への投資にあたっては、2017年1月償還のブラジルリアル建て固定利付国債に継続投資を行いました。

<第1期：設定時～2011年9月27日>

基準価額は設定時に比べ6.5%の下落となりました。

- ・債券の利子収入によるプラス要因を、ブラジルリアルが対円で下落したことによるマイナス要因が上回ったことから、基準価額は下落しました。

<第2期：2011年9月28日～2012年9月27日>

基準価額は期首に比べ8.8%の上昇となりました。

- ・ブラジルリアルが対円で下落したことによるマイナス要因を、ブラジルの金利が低下したことや債券の利子収入によるプラス要因が上回ったことから、基準価額は上昇しました。

<第3期：2012年9月28日～2013年9月27日>

基準価額は期首に比べ18.8%の上昇となりました。

- ・ブラジルの金利が上昇したことによるマイナス要因を、ブラジルリアルが対円で上昇したことや債券の利子収入によるプラス要因が上回ったことから、基準価額は上昇しました。

<第4期：2013年9月28日～2014年9月29日>

基準価額は期首に比べ11.8%の上昇となりました。

- ・ブラジルの金利が上昇したことによるマイナス要因を、ブラジルリアルが対円で上昇したことや債券の利子収入によるプラス要因が上回ったことから、基準価額は上昇しました。

<第5期：2014年9月30日～2015年9月28日>

基準価額は期首に比べ27.8%の下落となりました。

- ・債券の利子収入によるプラス要因を、ブラジルの金利が上昇したことやブラジルリアルが対円で下落したことによるマイナス要因が上回ったことから、基準価額は下落しました。

<第6期：2015年9月29日～2016年9月27日>

基準価額は期首に比べ17.8%の上昇となりました。

- ・債券の利子収入を享受したほか、ブラジルの債券利回りが低下したことやブラジルリアルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

<第7期：2016年9月28日～信託終了日>

償還価額は期首に比べ20.0%の上昇となりました。

- ・債券の利子収入を享受したほか、ブラジルリアルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、ブラジルレアル建てのブラジル国債およびアフリカの株式等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第3期から第6期までは10円の分配とさせていただき、信託期間中、累計で40円の分配を行わせていただきました。

償還価額

＜ツインアクセル（ブラジル国債&アフリカ株式）《2017-01》＞
償還価額は11,928円77銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○1万口当たりの費用明細

(2016年9月28日～2017年1月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(11)	(0.104)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.312)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.010)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.045	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.044)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	52	0.471	
期中の平均基準価額は、11,013円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年9月28日～2017年1月24日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
JPMorgan Funds - Africa Equity Fund	—	—	23	2,112

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ブラジル国債マザーファンドA F	千口 —	千円 —	千口 316,277	千円 429,030

○利害関係人との取引状況等

(2016年9月28日～2017年1月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年1月24日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)
	口 数
(ルクセンブルグ(米ドル建)) JPMorgan Funds - Africa Equity Fund	千口 23
合 計	23

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)
	口 数
ブラジル国債マザーファンドA F	千口 316,277

○投資信託財産の構成

(2017年1月24日現在)

項 目	償 還 時
	評 価 額 比 率
コール・ローン等、その他	千円 508,314 100.0 %
投資信託財産総額	508,314 100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2017年1月24日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	508,314,385
コール・ローン等	508,314,385
(B) 負債	20,267,607
未払解約金	17,753,767
未払信託報酬	2,507,866
未払利息	715
その他未払費用	5,259
(C) 純資産総額(A-B)	488,046,778
元本	409,134,268
償還差益金	78,912,510
(D) 受益権総口数	409,134,268口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,928円77銭

<注記事項>

期首元本額 576,765,110円
 期中追加設定元本額 72,370円
 期中一部解約元本額 167,703,212円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.192877円です。

○損益の状況（2016年9月28日～2017年1月24日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 4,568
受取利息	68
支払利息	△ 4,636
(B) 有価証券売買損益	72,661,438
売買益	89,537,005
売買損	△16,875,567
(C) 信託報酬等	△ 2,556,769
(D) 当期損益金(A+B+C)	70,100,101
(E) 前期繰越損益金	8,820,598
(F) 追加信託差損益金	△ 8,189
(配当等相当額)	(66,481)
(売買損益相当額)	(△ 74,670)
償還差益金(D+E+F)	78,912,510

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年9月28日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年1月24日			資 産 総 額	508,314,385円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	20,267,607円	
受益権口数	7,644,426,675口	409,134,268口	△7,235,292,407口	純 資 産 総 額	488,046,778円	
元 本 額	7,644,426,675円	409,134,268円	△7,235,292,407円	受 益 権 口 数	409,134,268口	
				1万口当たり償還金	11,928円77銭	
毎計算期末の状況						
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金 額	分 配 率	
第1期	5,904,570,866円	5,044,005,251円	8,543円	0円	0.0%	
第2期	1,875,143,014	1,821,281,475	9,713	0	0.0	
第3期	1,264,224,439	1,524,865,671	12,062	10	0.1	
第4期	820,396,470	1,112,007,452	13,555	10	0.1	
第5期	686,800,751	717,824,145	10,452	10	0.1	
第6期	576,765,110	589,188,118	10,215	10	0.1	

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）

11,928円77銭

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	JPMorgan Funds - Africa Equity Fund	ブラジル国債マザーファンドA F
運用方針	上場している市場に関係なくアフリカ諸国のいずれかの法律に基づき設立・登記されている企業、あるいは大部分の経済活動がアフリカ諸国で行われている企業が発行する株式等を主要投資対象とします。為替ヘッジを行う場合があります。	ブラジルレアル建てのブラジル国債を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	アフリカの企業の株式等を主要投資対象とします。	ブラジルレアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
ベンチマーク	MSCI エマージング・アンド・フロンティア・マーケット・アフリカ・インデックス（配当込み）	なし
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・一発行体に対する投資比率はファンド資産の10%以下とします。 ・一発行体に対するファンド資産の投資比率が5%を超えるものの合計投資比率はファンド資産の40%以下とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
決算日	原則として毎年6月末	原則として毎年9月27日
分配方針	無分配	無分配

※JPMorgan Funds - Africa Equity Fundには、複数のシェアクラスが存在しますが、上記はツインアクセル（ブラジル国債&アフリカ株式）《2017-01》が投資対象とするシェアクラスの概要を示しています。

(1) 運用計算書及び純資産変動計算書

(A) JPMorgan Funds - Africa Equity Fund

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載していません。

(B) ブラジル国債マザーファンドA F

20頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 投資有価証券明細表 (Schedule of Investments) 米ドル建て評価額

(A) JPMorgan Funds - Africa Equity Fund

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、掲載していません。

(B) ブラジル国債マザーファンドA F

19頁の組入資産の明細をご参照ください。

ブラジル国債マザーファンドA F

《満期償還(第7期)》信託終了日2017年1月23日

[計算期間：2016年9月28日～2017年1月23日]

「ブラジル国債マザーファンドA F」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 円 銭	価 額		債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %	純 資 産 額 百万円
		期 騰 落	中 率 %			
3期(2013年9月27日)	12,084		18.8	95.6	—	869
4期(2014年9月29日)	13,514		11.8	95.4	—	622
5期(2015年9月28日)	9,755		△27.8	93.9	—	375
6期(2016年9月27日)	11,487		17.8	97.4	—	363
(償還時) 7期(2017年1月23日)	(償還価額) 13,784.20		20.0	—	—	363

(注) 当ファンドは、ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰	落			
(期 首) 2016年 9月27日	円 銭 11,487		% —			% —
9月末	11,532		0.4	97.4		—
10月末	12,283		6.9	93.9		—
11月末	12,552		9.3	94.6		—
12月末	13,669		19.0	89.0		—
(償還時) 2017年 1月23日	(償還価額) 13,784.20		20.0	—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

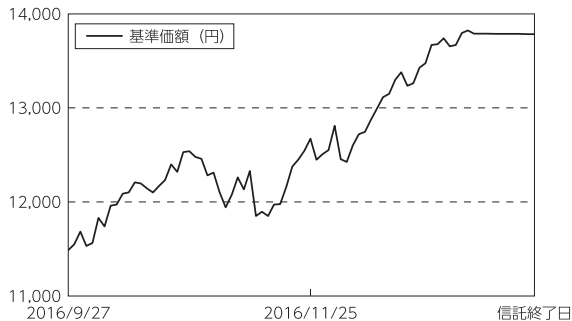
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

償還価額は期首に比べ20.0%の上昇となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎ブラジル債券市況

- ・ブラジル債券利回りはほぼ横ばいとなりました。2016年11月上旬に実施された米国大統領選の結果を受けた2017年以降の財政政策に対する期待の高まりなどから、世界的に金利が上昇するなか、ブラジルなどの新興国においても金利が上昇圧力を受ける展開となりました。一方で、原油や鉄鉱石などの資源価格が堅調に推移したことや、テメル大統領が構造改革推進を宣言し同国の財政再建への期待が高まったことなどが金利低下要因となり、金利は安定的に推移する展開となりました。また、ブラジル中央銀行（BCB）が国内のインフレ圧力が弱まるなか政策金利を引き下げたことなども金利が安定的に推移するサポート要因となりました。

◎為替市況

- ・ブラジルレアルは対円で上昇しました。前記大統領選の結果を受けて米国金利が上昇して日米の金利差が拡大したことなどから、円が米ドルに対して下落するなか、ブラジルレアルは対円で上昇しました。また、鉄鉱石など資源価格が上昇したことなども、ブラジルレアルの上昇要因となりました。
- ・（ご参考までにブラジルレアルは、設定時の49.34円に対して、信託終了日は35.89円と

27. 26%の円高となりました。)

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・ ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
 - ・ ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄とした結果、2017年1月償還のブラジルリアル建て固定利付国債に継続投資を行いました。
 - ・ 債券の利子収入を享受したほか、ブラジルリアルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

● 償還価額

償還価額は、13,784円20銭となりました。

○1万口当たりの費用明細

(2016年9月28日～2017年1月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 12 (12)	% 0.096 (0.096)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	12	0.096	
期中の平均基準価額は、12,509円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年9月28日～2017年1月23日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル -	千ブラジルリアル 2,687 (8,650)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年9月28日～2017年1月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年1月23日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2017年1月23日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 363,130	% 100.0
投資信託財産総額	363,130	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2017年1月23日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資産	363,130,635 円
コール・ローン等	363,130,635
(B) 負債	512
未払利息	512
(C) 純資産総額(A-B)	363,130,123
元本	263,439,388
償還差益金	99,690,735
(D) 受益権総口数	263,439,388口
1万口当たり償還価額(C/D)	13,784円20銭

○損益の状況 (2016年9月28日～2017年1月23日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	15,234,487 円
受取利息	15,241,314
支払利息	△ 6,827
(B) 有価証券売買損益	50,849,558
売買益	55,939,737
売買損	△ 5,090,179
(C) 保管費用等	△ 352,223
(D) 当期損益金(A+B+C)	65,731,822
(E) 前期繰越損益金	47,020,582
(F) 解約差損益金	△13,061,669
償還差益金(D+E+F)	99,690,735

<注記事項>

①期首元本額 316,277,719円

 期中追加設定元本額 0円

 期中一部解約元本額 52,838,331円

また、1口当たり純資産額は、期末1.378420円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

 ツインアクセル(ブラジル国債&アフリカ株式)《2017-01》 263,439,388円

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。